

# ブルガリア月報〔2011年4月〕

平成23年5月  
在ブルガリア日本国大使館

## 概観

### 【政治・社会】

- ・欧州委員会専門家グループが、ブルガリアはシェンゲン・ゾーン加入のための技術的な条件について全てクリアしているとの評価を発表。
- ・秋の大統領選挙及び地方選挙同日実施に向けて選挙管理委員会が発足。

### 【経 済】

- ・2010年財政赤字暫定値（対GDP比3.2%）を発表。
- ・トライコフ経済相、ブルガリア・露経済担当政府間委員会（於：モスクワ）に出席。
- ・再生可能エネルギー新法の可決・成立。

### 【我が国との関係】

- ・東日本大震災被災者に対して、ブルガリアの官民が支援
- ・草の根・人間の安全保障無償資金協力：学校衛生施設の改修計画供与式

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

## 政治・社会

### 1. 内政

#### ◆シェンゲン・ゾーン加入問題：

##### 欧州委員会専門家グループによる調査結果発表

4日、ブルガリアのシェンゲン加入問題に関し、欧州委員会専門家グループが実施した調査結果が発表され、ブルガリアはシェンゲン・ゾーン加入に係る技術的な条件を全てクリアしていることが明らかにされた。

#### ◆選挙管理委員会の発足

15日、選挙管理委員会が発足、秋の大統領選挙・地方選挙同日実施に向けて準備を開始した。同委員会は各党の国民議会議席数に比例した数の各党代表者等からなる。

### 2. 外政

#### ◆ムラデノフ外相：シリア・イエメン訪問（4月10～11日）

▶ムラデノフ外相はバッシャール・アル・アサド大統領及びムアッリム外相等と会談。「ム」外相は記者団に対し、大統領との会談では、シリアにおける暴力の即時停止及び断固たる改革を訴えた旨述べた。また、両外相の会談では、シリアの現状の評価を聴取、また北アフリカ・中東における進行中の出来事に関して、シリアは大きな重要性を有している旨指摘したと述べた。

▶11日、ムラデノフ外相はイエメン訪問。アリー・アブドゥラー・サーレハ大統領及びアブー・バクル・アブドゥラー・カルビー外相等と会談。前述のシリア訪問と同様、「ム」外相は、暴力の即時停止を訴え、反体制派との歩み寄りの必要性を強調、EU及びブルガリアはイエメンにおける深刻な政治危機の解決を支援したい旨言明した。

#### ◆ボリスフ首相：クロアチア訪問（4月27日）

▶ボリスフ首相がクロアチア訪問。ヨシポビッチ大統領及びコソル首相等と会談。また、ブルガリア・クロアチア間のビジネスフォーラムに出席。

▶「ヨ」大統領との会談では、両者は両国関係が非常に良好であること、組織犯罪・汚職対策等、多くの分野で協力関係を築いていることで一致。また、「ヨ」大統領は、EU加盟交渉を巡るクロア

### 経 済

#### 1. マクロ経済

#### ◆ 2010 財政赤字暫定値の発表

▶統計局は、2010年財政赤字暫定値が22億6920万レバ、対GDP比3.2%である旨ユーロスタットに提出したことを発表。

#### ◆ 2011年3月財政収支

▶18日、財務省は3月の財政収支に関し、860万レバの黒字となった旨発表。主な要因は税収（間接税）の増加、社会保険料納入の増加であり、歳入は昨年同期より約3億5830万レバ増（対前年比6.9%増）となった。第1四半期の財政収支については、7億4100万レバの赤字となったが、昨年同時期の赤字幅16億6000万レバと比較すると半額以下となっている。

#### ◆ インフレーション

▶統計局は、3月のインフレーション（対前年比）の値について、対前年同期比4.6%、対前月比0.4%である旨発表。前月から最も上昇した分野は交通分野（1.6%）であり、次いで食糧・飲料分野（1.4%）。

#### ◆ 対EU貿易（1月）

▶11日、統計局は1月の対EU輸出額が18億レバを越え、対前年比71.4%増となった旨発表した。主な輸出先は独、伊、ギリシャ、ルーマニア、仏で全体の約68%を占めた。輸出については殆どの分野で増加したが、最も増加した分野

チアの取り組み、特に司法改革について説明した。一方、「ボ」首相は、クロアチアのEU加盟交渉終了を強く支持する旨表明の上、クロアチアのEU加盟条約が批准手続きに入った場合、ブルガリア議会は即座に批准を行うであろう旨述べた。

▶両首相の会談後、「ボ」首相は記者団に対し、クロアチアがEU加盟交渉を6月に終了させることは、南東欧地域にとって大変重要である旨述べた。

は化石燃料を含む原材料等であり、減少した分野は、飲料及びタバコのみであった。

▶輸入については、17億レバを越え、対前年比37.5%増となった。

#### 2. その他

#### ◆ブルガリア・露経済担当政府間委員会

▶7日、トライコフ経済・エネルギー・観光大臣は、モスクワで開催された露政府との経済担当政府間委員会に出席した。同会合では、エネルギー産業が引き続き2国間協力の戦略的分野であると指摘された。

▶ブルガリア側は、原子力発電産業の発展に際し、最高水準の安全性を最優先事項に据えていると強調。その上で同国北部ベレネ原発の建設計画に関し、ブルガリアと露は安全性の優先を念頭にこれまでの企業レベルでの合意に基づき、また、安全基準を厳密に順守しながら、あらゆる問題への互恵的な解決策を早期に見いだすことに関心を有していることを再確認した。

▶また、両国はロシア産石油をブルガリア東部ブルガスからギリシャのアレクサンドロポリスに運ぶパイプライン建設計画について、履行に向けた更なる措置は環境影響評価に関する最終報告が出来上がった後、初めて取れるようになるとの認識で一致した。

#### ◆仏原子力大手と協力覚書調印

▶13日、国営企業のブルガリア・エナジー・ホールディング社（BEH）と、仏原子力大手アレバ

社はソフィアで、原子力及び再生可能エネルギー資源分野での協力に関する覚書に調印した。トライコフ経済・エネルギー・観光大臣は同覚書に関して、コズロデュイとベレネにおける原子力事業やその一部に関連するものだと説明し、また、福島第一原発事故を踏まえた安全基準について情報交換を想定している旨コメントした。

#### ◆NEK 社長の更迭

▶14日、ブルガリア国営電力会社（NEK）の上部組織であるブルガリア・エナジー・ホールディング社（BEH）の理事会は、パルバノフ同社長の更迭について満場一致で決定した。同社長は、ベレネ原子力発電所建設に関する露企業との交渉において、権限を逸脱した行為を行ったと責任を追及されていた。新社長の選出までの社長代理は、同社会計局長であるミハイル・アンドノフ氏が務める

#### ◆口蹄疫拡散防止フェンスの設置の決定

▶20日、政府は口蹄疫の感染拡大を防ぐため、トルコ国境に金網フェンスを設置することを決定した。野生動物や家畜が両国間を自由に行き来することを防ぎ、ウイルスの拡散を防止する。トルコ国境は約210キロだが、現時点でフェンスが設けられている区間は約29キロ。右部分のフェンスの改修及び未設置部分の残り約181キロに

#### 我が国との関係

##### ◆ 東日本大震災：ブルガリアの官民が支援

▶12日、菅直人総理からの各国の支援と連帯への感謝のメッセージが各紙に掲載された。ブルガリアでも震災直後から官民による支援の動きが高まり、各種チャリティー事業、協会での祈禱会、折り鶴やメッセージの作成、募金活動キャンペーン等が実施された。

▶20日、ブルガリア閣僚評議会は東日本大震災の被災者に対して、EUを通じた物資支援に対しブ

ついて新設する。気温が低くなると口蹄疫ウイルスが広まりやすくなるため、10月までに設置を完了する見通し。

#### ◆出生率の増加

▶ユーロスタットは、2003年から2009年にかけて実施したEU加盟国の出生率調査について、ブルガリアは一人当たり1.23人から1.57人に増加し、増加率が最も大きかった国である旨発表。

▶ブルガリアに次ぎ、スロベニア（1.20から1.53）、チェコ（1.18から1.49）、リトアニア（1.26から1.55）が高い増加率を記録した。2009年において出生率が高かった国は、アイルランド（2.08人）、仏（2.00人）、英（1.96）であり、低かった国は、ラトビア（1.31人）、ハンガリー、ポルトガル（1.32人）、独（1.36人）であった。

#### ◆再生可能エネルギー新法可決

▶21日、国民議会で審議されていた再生可能エネルギー新法が可決・成立した。電力買取保証期間の短縮（太陽光は25年から20年に、風力は15年から12年に）など投資企業にとっては現行法に比べ厳しい内容となった。なお、本法律に基づき電力買取価格は別途今後1か月以内に定められ、その後は毎年6月末に改定される。

ルガリアから簡易ベッド168台を提供することを決定、さらに20万レバの寄附金拠出（日本赤十字社に対し）を決定した。

#### 草の根・人間の安全保障無償資金協力

##### ◆ 学校衛生施設の改修計画供与式

▶29日、ブルガリア東部ヴァルナ市のリュベン・カラヴェロフ中等学校で、日本政府が供与した49,905ユーロを原資に実施された衛生施設改修プロジェクトの供与式が実施された。

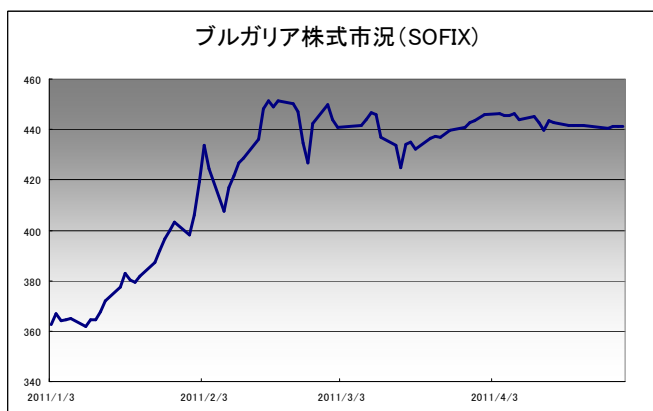
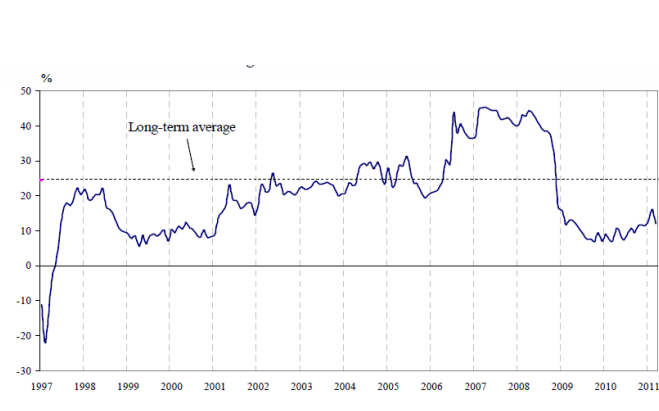
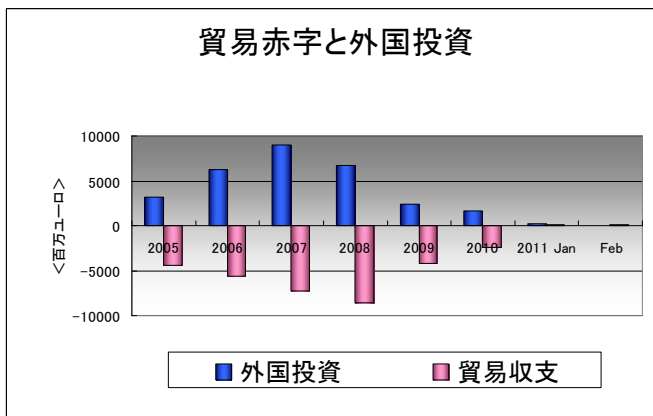
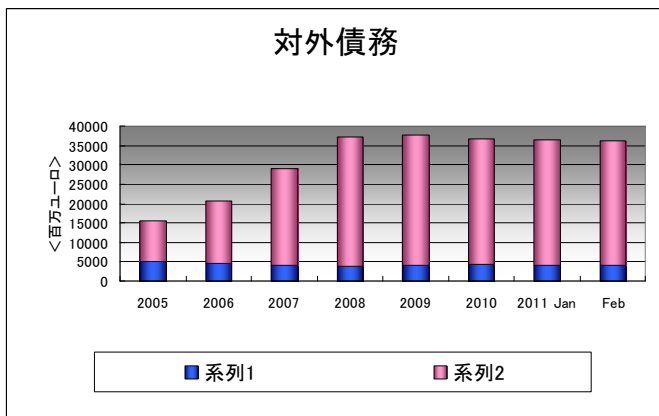
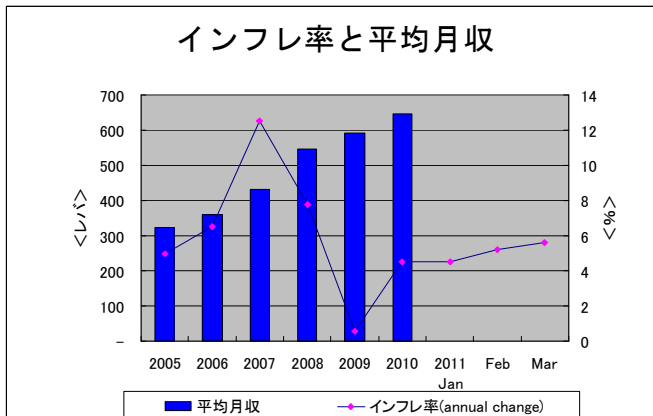
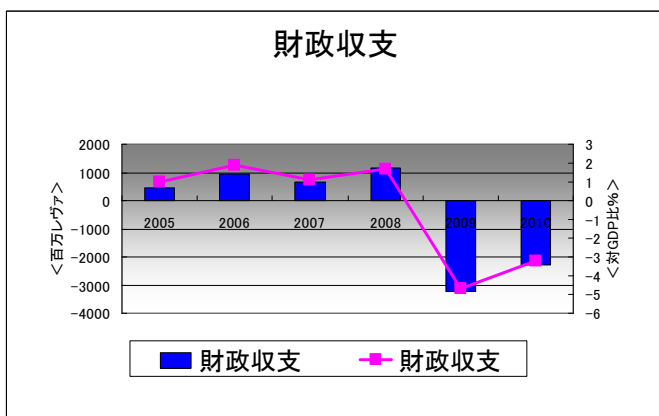
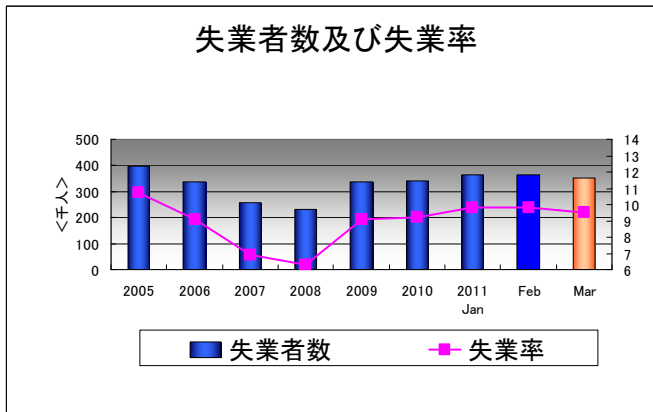
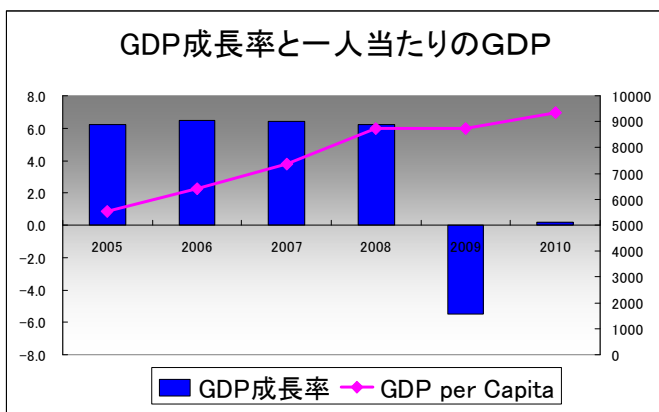
## ブルガリア内政・外交の動き（4月）

在ブルガリア大使館

1（金）	
2（土）	
3（日）	●最高破棄裁判所：ドゥルメフ元農業基金総裁（公金横領の疑い）に無罪判決
4（月）	☆ラドマノビッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ大統領評議会議長：ブルガリア訪問（～5日） ●欧州委専門家グループ：ブルガリアのシェンゲン・ゾーン加入条件に関する実態調査結果を発表
5（火）	☆ツァチェヴァ国民議会議長：EU議長国会合出席（於：ブリュッセル） ☆ツヴェタノフ副首相兼内相：米DEA主催薬物コントロール国際会合出席（於：メキシコ）
6（水）	
7（木）	
8（金）	
9（土）	
10（日）	☆ムラデノフ外相：シリア訪問
11（月）	☆ムラデノフ外相：イエメン訪問
12（火）	☆ムラデノフ外相：EU外相理事会出席（於：ルクセンブルク）（～13日）
13（水）	
14（木）	☆ムラデノフ外相：NATO外相会合出席（於：ベルリン）（～15日）
15（金）	●選挙管理委員会発足
16（土）	
17（日）	
18（月）	
19（火）	
20（水）	☆ムラデノフ外相：アラブ首長国連邦訪問（アブダビ） ★閣僚評議会：EUを通じた東日本大震災被災者物資支援に対し、簡易ベッド168台を提供する他、20万レヴァの寄附（日本赤十字社に対し）を決定 ☆ザンビアの対ブルガリア債務取消しを合意（630万米ドル）
21（木）	●ソフィア裁判所：マ斯拉ロヴァ議員（前労相）に対する審理開始：公金横領容疑 ★在京ブルガリア大使館：東日本大震災後に一時移転していた福岡から東京に戻る
22（金）	
23（土）	
24（日）	
25（月）	
26（火）	☆ボリスフ首相・ムラデノフ外相：第7回ブルガリア・メディア会合出席（於：ハーグ）
27（水）	☆ボリスフ首相・トライコフ経済相：クロアチア訪問 ☆ムラデノフ外相：米国ユダヤ委員会グローバルフォーラム出席（於：米国） ☆フリゲート艦ドラツキ（Drazki）をNATOの対リビア軍事活動に係る後方支援のためリビア沖へ派遣
28（木）	
29（金）	☆ムラデノフ外相：EU非公式外相理事会出席（於：キプロス） ○アタック：ソフィア市中のモスク前でブルガリア正教聖歌を演奏する等して挑発
30（土）	

# ブルガリア経済指標 (2011年4月)

出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所



## ブルガリア主要経済指標

### <GDP成長率と一人当たりのGDP>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010
GDP成長率 (%)	6.2	6.5	6.4	6.2	-5.5	0.2
GDP per Capita (BGN)	5529	6411	7379	8753	8735	9362

### <財政収支>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010
歳入 (million BGN)	464.5	960.5	682.9	1148.8	-3210.7	-2269.2
財政収支 (% of GDP)	1	1.9	1.1	1.7	-4.7	-3.2

### <失業者数及び失業率>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Jan	Feb	Mar
失業者数 (千人)	397	338	256	232	338	342	362	362	352
失業率 (%)	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	9.2	9.8	9.8	9.5

### <インフレ率と平均月収>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Jan	Feb	Mar
インフレ率 (%)	5	6.5	12.5	7.8	0.6	4.5	4.3	4.6	4.6
平均月収 (BGN)	324	360	431	545	591	647			

### <対外債務>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Jan	Feb
政府対外債務 (million EURO)	5197.6	4547.3	4092.3	3908.7	4172.5	4287.5	4096.6	4132
民間対外債務 (million EURO)	10309.3	16143.6	24924.5	33203.7	33635.6	32392	32221.7	31931

### <貿易赤字と外国投資>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Jan	Feb
外国投資 (million EURO)	3152	6222	9052	6728	2412	1639	170.5	53.4
貿易収支 (million EURO)	-4410	-5562	-7245	-8597	-4174	-2413	95.1	69.7
輸出 (million EURO)	9,466	12,012	13,512	15,204	11,787	15,588	1,589	3,061
輸入 (million EURO)	13,876	17,574	20,757	23,801	15,889	18,000	1,494	2,991